



# 銀座の言語景観7

日本大学文理学部国文学科  
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座の百貨店における外国人観光客への取り組み
- 銀座オフィシャル掲載の飲食店における言語表示の実態
- 料理店のジャンルごとの言語景観の違い
- 各地域のマツモトキヨシにおける言語景観の違いから銀座のあり方を考える
- 銀座周辺のデパートにおけるピクトグラムについて
- 銀座百貨店のレストラン街における言語景観の比較

 検索

## 第4章 料理店のジャンルごとの言語景観の違い

### 4.3.中華料理店における言語景観（川浪楓）

#### 4.3.1.調査概要

中華料理店以下5店舗を、メイン看板、サブ看板、サブ看板2、外メニュー、外メニュー2、のぼり、張り紙、パンフレット、臨時的掲示物、臨時的掲示物2、臨時的掲示物3、ウェブサイトの観点に基づき、どのような言語表記がされているのかを調査し、また、なぜそのような言語表記になっているかを考察する。

#### 4.3.2.調査結果

	楼蘭	麒麟	全聚徳	沁園園	赤坂璃宮	観点があった店舗の合計
メイン看板	なし	中（併音）	営業せず	日、ローマ字	日	3
サブ看板	日	英、日、中（併音）	中	日、ローマ字	日→ローマ字	5
サブ看板2	日	なし	中	なし	なし	2
外メニュー	日→英	日	営業せず	日	日	4
外メニュー2	日	（左）日：ランチセットの案内（右）英：四つのメニューの案内	営業せず	なし	日→英	3
のぼり	なし	なし	営業せず	なし	なし	0
張り紙	日：季節のおすすめメニュー	なし	営業せず	なし	なし	1
パンフレット	中（繁）、日、ハングルそれぞれ：デパート発行	なし	営業せず	日（店名と総料理長の名前にローマ字、肩書に英）	日（店名と総料理長の名前にローマ字）	3
臨時的掲示物1	日→英→中（簡）→中（繁）→ハングル：満席の案内	日：忘年会の案内	日：休業案内	なし	日：コース料理の案内	4
臨時的掲示物2	日：おせちの案内	日	なし	なし	日：赤坂璃宮の特集を組んだ雑誌	3
臨時的掲示物3	なし	なし	なし	なし	日→英：銀座厳選ランチメニュー	1
ウェブサイト	日、英、中（簡）、中（繁）、ハングルそれぞれ	日（目次に英）	日（目次に英）	日（目次に英）	日、英それぞれ	5

中華では、「予算が高い」店舗の昇順に言語表記が充実しているのかと予想していたが、あくまでも店舗ごとに言語表記の特色が表れているといえる。条件が同じであるにもかかわらず、これは意外な結果だった。ゆえに、看板などの文章の少ないものと、メニューのような文章の多いもので使われている言語が違ふという予測において、一概にそうであるとはいえず、それよりも、単純にデザインとして多言語表記しているケースや、「多言語対応している」というアピールのほうが見受けられた。また、伝えたい内容によって言語表記を使い分けているといえる。それは、忘年会の案内や、お節料理の案内から読み取れる。おそらく、日本人になじみ深いものなので、日本人向けの表記がされていると予想した。言語表記が盛んだった楼蘭で、季節のおすすめメニューが日本語で書かれていたことは、句も日本の文化だからと予想される。また、中華であるので、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）が多いのかと予想していたが、「インバウンド統計レポート：日本経済新聞」をみても分かるように、中国人よりも欧米諸国の外国人のほうが、食にかける費用が高いので、今回の調査店舗が高級店だったということもあって、英語をデザインとして、あるいは表記言語として採用していたのではないかと考えた。

#### 4.1.調査概要

#### 4.2.「和食」における言語景観（清水航七）

#### 4.4.フランス料理店の言語景観（野瀬秀平）